



障がい者支援施設・就労継続支援B型事業所 新葉学園
ワークキャンプ樋脇
共同生活援助事業所 第1・第2 拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会
薩摩川内市樋脇町塔之原5270
TEL:0996-37-2861 FAX:0996-37-2981



私たちの使命

総務課長 内匠 敏行

先日、薩摩中央高校福祉科の生徒さんが、今年もまた五日間の実習を当施設で体験されました。自分の将来をしっかりと見据えて福祉の仕事を目指す生徒の皆さんは、とても生き生きとした眼差しで実習に取り組んでいました。私も今の仕事に就いて約二十数年になります。私自身もこの仕事に就いたきっかけが、学生時代の実習体験でした。障がいのある方々と実際に向き合い、最初は戸惑いもありましたが、少しずつかわりを深めていく中で多くの感動や学びを得る事が出来ました。当時、施設実習でかわつた利用者さんから二十数年経った今でも再会するたびに笑顔で声を掛けて頂けることがとても嬉しいです。

また私が支援員として働き始めて間もない頃、あるご両親から障がいのある我が子への熱い思いをお聴きした事が今でも深く心に残っています。待望の我が子を授かり喜んだのも束の間、その子には障がいがあり、その現実を受け入れるまでの壮絶な親としての葛藤、さらに成長していく過程での様々な試練を一つ一つ乗り越えながら、我が子の障がいと真剣に向き合ってこられたご両親の熱い思いを目の当たりにし、その時あらためて私はこの福祉の仕事に本気で取り組んでいこうと決意しました。

そして今、私たち障がい福祉を取り巻く現状は、時代の流れと共に目まぐるしく変化し、さらに益々複雑化しています。このような時だからこそ「変わることに」対して臆する事なく、まず第一に施設を利用される方々の思いをしっかりと受け止め、その思いに全力でお応えしていく事が私たちの使命であると自覚し、これからも新葉学園としての独自性を発揮しながら質の高い福祉サービスの提供に拘り、多くの方々に必要とされる魅力ある施設づくりを行って参りますので今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

支援員 兼子 剛

去る十月二十五日(土)に第二十九回拓洋会大運動会が開催されました。今年は準備の段階から天候に恵まれ、着実に準備を進めて本番を迎えることが出来ました。当日も秋空の中、利用者の堂々とした入場行進から始まり、来賓や地域の方々の激励の言葉を頂きながら数々の競技やレクリエーションが行われました。今年も善福寺保育園の園児さん達による遊戯も披露され、可愛らしい中にも大人顔負けの迫力ある演技を見せてもらい会場を盛り上げてくれました。

同点のまま迎えた最後の組対抗リレーは、より一層白熱した闘いとなり、勝敗にかかわらず紅組・白組が一体となって大盛り上がりで幕を閉じた事が一番良かったと思います。

今年も多くのご家族、地域の方々、ボランティアの皆さんに協力して頂き、利用者の方々も楽しく触れ合いながら競技を楽しむことが出来た事と思います。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

来年は施設移動の関係から運動会が開催できるかまだ分かりませんが、利用者・ご家族・地域の方々との触れ合う場を無くさない様、いろいろ考えて参りますので宜しくお願い致します。



▲晴天の下、堂々の行進♪



▲ソイヤー!



▲素晴らしい選手宣誓でした★



▲頑張れー!



▲人気の自家製パン食い♪

楽しみにしていた運動会の日、晴れて良かったと思います。徒競走や紅白リレーなど、他の競技の応援も今年は番盛り上がりしました。私は、運動会の日に初めて、よさこいを踊りました。よさこいの衣装は二目で気に入りました。いつか、衣装を着た自分の姿を鏡の前で見ながら踊ってみたいです。

利用者 長野 五月さん



▲可愛い保育園児さんたち



▲思わず息を呑みます



▲最後の熱戦紅白リレー!



9/17

第二十三回 北薩地区 ふれあいスポーツ大会



利用者 正岡 和成さん



▲ 上手に狙えるかな？

九月十七日、晴天の中、北薩地区ふれあいスポーツ大会が薩摩川内市総合運動公園で開催されました。開会式の後、それぞれ競技が始まりました。午前中は、フライングディスクに出場して頑張り、レクリエーションにも参加しました。学園の人も二位をたくさんとっていました。午後からはソフボール投げに参加してがんばりました。

いよいよ最後のリレーになり、学園は男女ともに位でした。みなさん、友達やなつかしい人と再会もされていたようです。来年の県大会にもでられるようだったら、次は全国大会を目指したいです。



▲ 慌てず急いで!(^^)



▲ 吉村さんと山下さんのデッドヒート!

第二十二回

九州地区知的障がい者施設 親善球技大会@鹿児島

係長兼職業指導員 山下 昌平

去る九月二十八日(日)に「第二十二回九州地区知的障がい者施設親善球技大会」が鹿児島県の郡山総合運動場で開催されました。五年ぶりの開催となった今大会の競技種目は、グラウンドゴルフとティーボール。四月に行われた県大会予選で当学園がグラウンドゴルフのライト級で優勝し、またティーボールも三位でしたが開催県の推薦枠に決まり、両競技とも九州・沖縄各県から十チームずつの出場となりました。

大会前日は鹿児島サンロイヤルホテルで監督者会議や開会式、前夜祭が開催され、和やかな雰囲気の中、アトラクションや食事等を楽しまれました。

晴天に恵まれ、絶好のスポーツ日和となった大会当日、グラウンドゴルフは、勾配と起伏が多い難関コースで皆さん苦戦していたようですが、物怖じすることなく日頃の練習の成果を十二分に発揮し、圧倒的なスコアで優勝することができました。ティーボールも全勝で上がった決勝戦で熊本県に惜しくも敗れましたが、準優勝という素晴らしい結果を残されました。利用者も職員が一丸となり、チームワークで戦った成果だと思います。

来年は、沖縄県大会ということもあり、皆さん出場に向けて今から意気込んでいるようです。



▲ 祝! グラウンドゴルフ優勝!



▲ 祝! ティーボール準優勝!



▲ チームワークバッチリ!



▲ 慣れないコースに悪戦苦闘しました

利用者 川元 初博さん

九月二十八日に行われた九州地区知的障がい者施設親善球技大会に参加して、私はグラウンドゴルフに出場しました。坂があつたりして慣れないコースで四苦八苦しました。優勝は難しいとすぐに思いましたが、一人ひとりの力を出し切ってぶつちぎりの点数を出す事ができました。優勝できてよかったです。

1



第十四回 全国障がい者 スポーツ大会 長崎大会

10月30日
～11月4日



利用者 敷根 美保さん
十月三十日から十一月四日まで全国大会に参加しました。そのきっかけは、ソフトボールなげは金メダルで、二〇〇m走はおしくも四位でした。とてもくやしかったけど自分のほんらいの走りができて、じこべストをだすことができたのでよかったです。



▲ 良い親睦にもなりました♪



▲ 全国トップレベルのハイレース!



B型事業所 よしもと新喜劇鑑賞&食事会

10月4日

支援員 田原 加奈
去る十月四日、



▲ お笑いの後に汗を流し..



▲ クレーンゲームで手に汗握り..



▲ 本家本元のお笑いに大爆笑!

B型事業所レクリエーションを実施致しました。今年度は、慰安旅行を行わず、日帰りのレクリエーションという形で鹿児島市内まで出掛けました。

市民文化ホールで行われた「よしもと新喜劇」を鑑賞しました。いつもテレビで見ている新喜劇や漫才を間近で見ることができ、みなさん大笑いでした。

次に大型アミューズメント施設「Round1」へ移動し、ボウリングをしたり、プリクラを撮ったり、近くの商業施設で買い物をしたりと、それぞれ思い思いに自分の時間を楽しんでいた様でした。

最後にサンロイヤルホテルのバイキングを楽しみました。どれをとってもおいしいご馳走に舌鼓を打ち、皆でお腹一杯になるまで堪能しました。

どの行程においても、日頃出来ない体験をたくさんし、利用者の方々のとても良い笑顔を見る事ができた一日となりました。



▲ ピンピンしてます!(笑)



▲ お腹いっぱい食べて幸せでした◎



▲ 夜のメインは豪華なバイキング料理☆☆☆



▲ 庄巻の琉球國祭り太鼓!

▲ みんなのダンス最高でした☆

拓洋会 夏祭り

7月26日



支援員 鶴崎 祥一

今年の夏祭りは、夕立ちに見舞われることもなく、地域の方々に多数来場いただいたおかげで盛大に開催することができました。

利用者の方々のカラオケと踊りで幕が開き、ご家族や地域の方々との一体感を楽しまれ、日頃の練習の成果を披露する良い機会になったと思います。

ゲストの顔ぶれも豪華で、「日本一自主練習するチーム」を合言葉に観ている人を元気にする「鹿児島YMCAチアダンススクール WIZARDS」と、沖縄の伝統芸能エイサーをベースに、空手の型を取り入れた独自の振り付けとダイナミックなパチさばきが魅力の創作太鼓集団「琉球國祭り太鼓」、そして日本舞踊の「八重咲同好会」の方々に参加を賜り、祭りを大いに盛り上げて頂きました。

昨年好評いただいた竹灯籠展示を今年も実施し、暗くなるにつれて淡い光が幻想的な空間を演出していました。

利用者の皆さんは、朝から準備と設営に携わった分、出店の食事やアトラクションを思う存分に楽しんでいただけたのではないのでしょうか。本当にお疲れ様でした。

最後に、ご出演頂いた皆様をはじめ、ご家族、地域の方々にご支援ご協力をいただきこの場をお借りして深く感謝いたします。

利用者 山崎 純代さん

七月二十六日に新葉学園の夏祭りがありました。カラオケやチアダンス、琉球太鼓の演奏があり、とても盛り上がり 있었습니다。私は恋するフォーチュンクッキーとよきこいソーランを踊りました。きんちようして上手くできなかったところもあったけど、とても楽しかったです。また、来年もがんばって踊りたいです。



▲ お楽しみ抽選会♪



▲ 幻想的な竹灯籠



▲ たくさんの御来場ありがとうございました



▲ 八重咲流日本舞踊



▲ 華麗! YMCAチアダンス☆

思い出アルバム

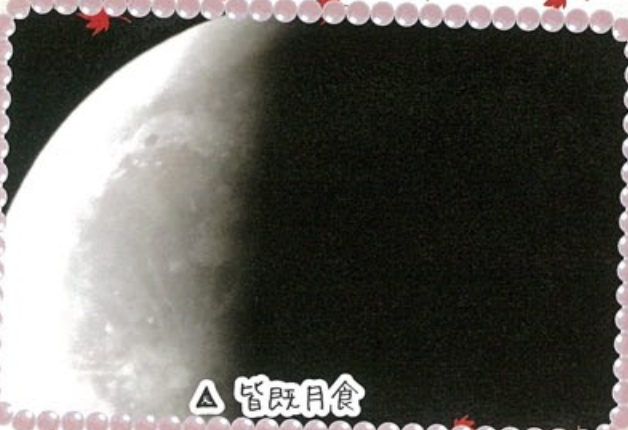
写真は楽しい活動の一部です



△ 神村学園専修学校実習生によるピアノライブ



△ 薩摩中央高等学校介護実習生のみなさん



△ 皆既月食



△ 夏休みの思い出に学園で花火☆



△ 九州大会優勝と準優勝! 2014



△ 地域対抗のグラウンドゴルフ大会



△ 少しずつ増やして 2014バージョン「アーチ」



△ 祝! 拓洋会杯ソフトボール大会優勝



▲ 納涼
そうめん流し



夏季休暇そうめん流し

8月16日 利用者 清水 きよ子さん

8月16日に生活班の利用者で、そうめん流しに行きました。みんなで食べたおにぎりとそうめんはとってもおいしかったです。そのあと景色を見に行き、カメラで写真を撮りました。

食事のあと温泉に入ったら気持ちがいいでした。温泉から上がるとアイスクリームやジュースを買って、中にはお菓子を買う人もいました。温泉の隣には服などが並べてあったのでみんなで見て回りました。皆がとても喜んでいたのでよかったです。



▲ 夏のいい思い出になりました◎

第9回 薩摩川内市ふれあい障がい者福祉大会

7月22日

支援員 小川 淳

今年で9回目を迎えた薩摩川内市ふれあい障がい者福祉大会は、今回、新葉学園が幹事施設となり多くの方々より助言を頂きながら、総勢550名を超える大会を開催する事が出来ました。

午前の文化行事では、踊りや太鼓、体操等各々インパクトある発表だったのではないかと感じました。新葉学園は「よさこいソーラン」、「恋するフォーチュンクッキー」の曲に合わせてダンスを披露しました。ダンスは日中活動の合間に何度も練習に励んだ結果、当日は息の合ったダンスを披露し、会場から盛大な拍手を頂いた時は皆さん大変喜ばれていました。

午後のレクリエーション行事は、全員が参加できる「パン食い」「玉入れ」「綱引き」「じゃんけん大会」で一喜一憂する姿が見られ、レクリエーションを楽しみにしている方が多いのだと感じました。

また、大会中は懐かしい顔ぶれを拝見出来、今後も薩摩川内市ふれあい障がい者福祉大会が親睦を図れる交流の場となるよう実施していけたらと思いました。

最後に多くのボランティア・関係者皆さまのご理解、ご協力を得て盛会裏に終了出来た事を深く感謝申し上げます。



▲ よさこいソーラン☆



▲ 恋するフォーチュンクッキー月

ひわき盛リアゲ隊主催 鉄道公園 イルミネーション

地域活性化のために発足された有志団体「ひわき盛リアゲ隊」の皆さんによるイルミネーションが今年も始まりました。日頃、当法人が管理している樋脇駅跡地が、壮大なイルミネーションによって幻想的な世界を創造しています。中でも、線路上にまっすぐ延びる複数の光のラインが、まるで空港の滑走路のように一際輝いているのも見どころの一つです。

去る11月22日には、盛大な点灯式が行われ、多くの来場者で賑わっていました。皆様もお近くに寄られた際は、是非ご覧ください。



▲ 立体感のあるこのアングルがおススメです◎

- ★場 所：樋脇町鉄道公園内（旧樋脇駅跡地）
- ★点灯時間：18時～24時
- ★期 間：平成26年11月22日～平成27年1月17日



平成二十六年 施設内研修

第三回

平成二十六年九月四日(木)
 テーマ「職場から始めるエコ対策」

講師 日本テクノ(株)

鹿児島営業所

エコプランナー 福永 哲平 様



▲日本テクノ 福永様

第四回

平成二十六年十一月六日(木)
 テーマ「人権擁護研修(グループワーク)」

講師 人権擁護委員・支援員 小川 淳

乙須 恒平

新任職員紹介

生活介護事業所

支援員 市来 明美



B型事業所

支援員 藏前 美樹



十月十日より支援員として勤務させて頂いております。市来明美です。利用者の皆様に信頼してもらえる支援員を目指し、少しでも力になれる様努力していきたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。

八月から拓洋会で働かせて頂いております。藏前美樹と申します。初めての事が多く、皆様にご迷惑をお掛けするかもしれませんが、頑張りますので宜しくお願い致します。

研修報告

相談支援従事者研修

支援員 乙須 恒平

平成二十四年四月より障がい福祉サービス利用の全ての方に「サービス等利用計画」の作成が必要になりました。障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、きめ細かく支援する為に必要な計画で「サービス等利用計画」が作成されないと障がい福祉サービスの利用ができなくなるといふものです。

拓洋会でも平成二十五年四月より「相談支援事業所しんよう」を立ち上げ、利用者の計画相談に取り組んでいるところです。その計画作成を担う相談支援専門員の資格取得を目的とした相談支援従事者研修会が前期(九月一日〜九月二日)後期(九月二十九日〜十月二日)の日程で開催され参加させて頂きました。

前期研修では、相談支援専門員としての基本姿勢・障がい者総合支援法の概要、ケアマネジメント概論等、相談支援専門員としての心構えや法律等について講話があり、後期研修ではグループに分かれて事例を基に実際に計画を作成するというカリキュラムでした。利用者が目指すもの、夢、願いは何なのか、しっかりとニーズを把握したうえで本人の意向に沿い、且つ利用者が今後目標を達成していく為に必要とする社会資源を適切に結び付けていき、利用者の可能性を拡げていけるような計画を立てていく事が求められており、実行後も定期的に評価、見直し、改善を繰り返して利用者を継続的にバックアップしていくという重要な役割を担っている事が理解できました。

相談支援専門員は利用者が納得できる生き方を提案し、サポートする協働者にあたるので、常に気持ち第一に考えて支える仕組み(プランニング)を実践していく必要がある事を感じました。

お知らせ

- <退園者> 木場 友子さん(8月)
- <退職者> 上別府 優 (9月末)
- <表彰> 鹿児島保護観察所より、当法人に対し更生保護事業功労者として感謝状を頂きました。
- <寄付> 鹿児島相互信用金庫様より、「そうしん杉の子会50周年記念事業」の一環として当法人に寄付金を頂きました。

編集後記

今年も残すところ僅かとなりました。一年を振り返ると様々な出来事があり、特に「秋冬号」は、内容も盛り沢山となっております。今後、今後も多くの情報を皆様方へお伝えできるよう頑張つてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。(久保)

【広報委員会】

- 利用者 富吉 和明さん
 職員 上妻 利江子さん
 野村 昌弘
 小川 淳
 池田 俊彦
 宇田 千鶴
 久保 真彩